

北海道新幹線における列車走行試験の年末年始までの予定について

北海道新幹線については、12月1日よりH5系新幹線車両を使用し、土木構造物・軌道・電車線・信号設備の機能確認を目的とした走行試験を建設主体の鉄道・運輸機構とともに開始しており、主な試験である「入線・架線試験」、「ATC現示試験」、「速度向上試験」を、段階的に実施しているところです。

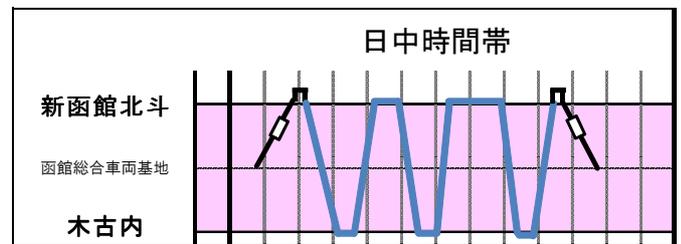
すでにお知らせしておりますが、共用走行区間の試験の実施に際しては、年末年始等を中心に計画的に夜間の「在来線列車の運行しない時間帯（以下、間合い）」を拡大し、夜行寝台特急列車及び急行列車等を運休または時刻変更をさせていただきます。ご利用のお客様には大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

1. 新線区間（新函館北斗～木古内間）の速度向上試験

【速度向上試験のイメージダイヤ】

○速度向上試験の内容

- ・軌道や電気設備の状態を確認
- ・段階的に速度を向上
- ・最終的に 260km/h(設計最高速度)まで確認(今月下旬)
※なお共用走行区間は 140km/h まで確認



2. 共用走行区間（木古内～奥津軽いまべつ間）のATC現示試験

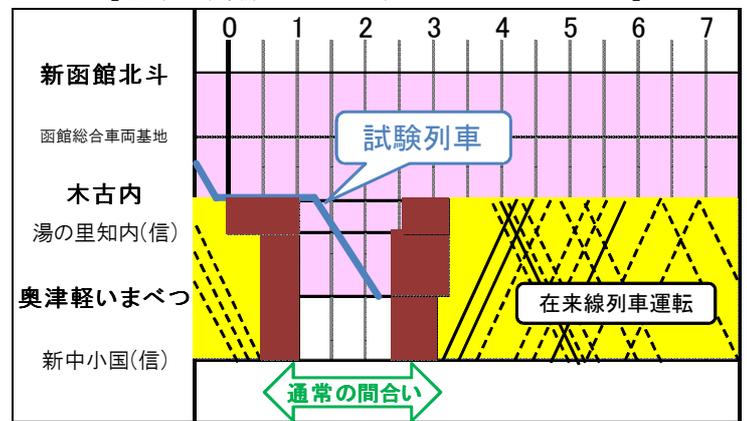
○ATC現示試験の内容

- ・ATC信号の地上・車上での送受信の照合、位置検知、軌道回路受信レベルの測定などについて、パターンを設定して試験を実施
- ・これにより信号設備に問題がないかを確認

○通常の間合い

- ・在来線／新幹線モードの切替(茶色) 約1時間
- 電圧：2万ボルト／2万5千ボルト
- ATC：アナログ / デジタル
- ・試験列車の運転可能時間 約1時間半程度

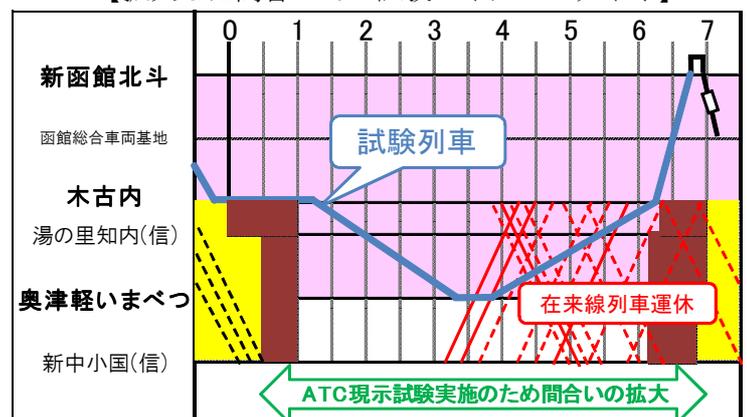
【通常の間合いでの試験のイメージダイヤ】



○年末年始の間合いの拡大（12/29-1/5）

- ・貨物列車が運休する年末年始期間を利用
- ・夜行寝台特急列車及び急行列車については計画的に運休

【拡大した間合いでの試験のイメージダイヤ】



参考：入線・架線試験

全ての線路について列車を低速度(30km/h)で走行させて、主に構造物、線路、電車線などの状態に不具合がないか確認する試験